



芝山小だより

4月臨時号

清瀬市立芝山小学校

校長 清水 一臣

<http://www.kiyose.ed.jp/>

苦しい時こそ互いに声をかけ合い、支え合いながら・・・ —臨時休校中の児童の様子とアンケートの協力について—

校長 清水 一臣

4月8日（水）から始まった今年度の臨時休校も今日（4月20日）で13日間が経とうとしています。その後、ご家庭でのお子様の様子はいかがでしょうか。緊急事態宣言の下での長期の休業ということで、家庭での過ごし方に苦慮されていることとお察しいたします。クラスター感染予防のための外出自粛の要請がある中ですが、学校には、管理職を含めて必要最小限の職員が出勤しております。何かお困りのことなどありましたら、ご遠慮なく学校にご連絡ください。また、家にこもりがちのために、子供たちの心が不安定になりがちです。市の教育相談室や都のコールセンターなどの相談窓口もご利用できます。今のところ、体調の変化や感染症にかかわる情報は学校に届いておりませんが、引き続きお子様の健康管理と生活リズムの維持にご協力いただきますようお願いいたします。

臨時休校中の取組みとして本校では、月曜日（2・4・6年生）と火曜日（3・5年生）に希望者を対象として健康観察日を設け、学級担任が登校してきた児童の健康観察を行うとともに、その週の課題等を提供しております。先週は13日（月）と14日（火）の2日間でおよそ90%を超える児童の元気な姿を見ることができました。各学年1時間おきに登校し、玄関先昇降口を受付として、学級担任が一人一人の児童の顔色を見ながら声をかけます。健康観察カードをチェックし、前週に取り組んだ課題の結果を子供たちから受け取り、交換に新しい課題やお便りを渡します。一人おおよそ1～2分間、マスクをしての対応です。子供たちは順番が来るまで、学級ごとにおおよそ2m間隔で間をあけて1列に並んで待っています。風通しをよくするため、玄関の扉と突き当りの中庭への出入り口の引き戸を全開に開けてあります。子供たちは新しい学級担任に声をかけられ、心なしか恥ずかしそうに受け答えをしていました。感染症対策に配慮しつつ、たとえ1週間に一度、わずかな時間ではありますが、子供たちが学校との接点を切らさないことが大切だと考えました。その様子はHPにも掲載してありますのでご覧ください。一方、当日都合がつかない方については、保護者による課題の受け取りや後日の受け取りも結構です。ご理解とご協力をよろしく願います。

また、児童の家庭での様子や気持ちを具体的に把握したいと考え、この度、児童向けのアンケートを実施することといたしました。（別紙にて配布）

質問項目は、①家庭での時間の過ごし方（外遊びなどの体を動かす時間、学習の時間、スマートフォンやゲーム、SNSなどに費やす時間、テレビをみる時間等）②臨時休校中で困っていること③臨時休校中にもっとやってみたいこと④学校が再開したら学校でやってみたいことや楽しみなこと⑤今回の新型コロナウイルスの感染拡大について思うことや考えること

対象は、2年生以上の子供たちです。1週間後の4月27日（月）か28日（火）の健康観察日の時に学級担任に提出してください。都合がつかないときは他日でも結構です。HPにも掲載します。

さらに、本日と明日、副校長から3年生以上の子供たちに俳句の宿題を出します。記入用紙と季語一覧を配りますので、一人3句ずつ創って提出してください。

新しい学年の音読集も配ってあります。いいな、素敵だなと思った詩や文章を見つけてどこからでも結構です。音読や暗唱ができればページの下にお家の方がサインをしてあげてください。また、このような時期にこそたくさんの本を読み、心を耕すようにしてください。

今後の健康観察日は、27日（月）（2・4・6年生）、28日（火）（3・5年生）です。どうぞ規則正しい生活を送り、元気な姿で登校してきてください。